令和７年度林木育種成果発表会を開催

令和８年３月５日（木）、令和７年度林木育種成果発表会を開催しました。今年度もオンラインで開催とし、国、都道府県、民間企業や団体等から、163 件の申込みがありました。

発表会は、秋田県立大学 木材高度加工研究所の高田克彦教授から、「林木改良：Tree Improvement を考える」と題した特別講演、また、長野県林業総合センターの小山泰弘育林部長から、「地域で活きる林木育種の成果～遺伝子解析が地域を救う～」と題した特別報告をそれぞれいただきました。



秋田県立大学 木材高度加工研究所
高田克彦 教授



長野県林業総合センター
小山泰弘 育林部長

高田教授からは、林木の遺伝的な改良のみならず、種苗生産、栽培管理、育成技術を通した社会実装により森林を取り巻く環境を改善する構想について発表がありました。

また、小山育林部長からは、長野県内における地域の懸案事項（歴史資産となっている樹木の保全、牧場跡地の自然再生）を解決する手段として育種技術を活かした取組の事例を紹介いただきました。

続いて、林木育種センター、森林バイオ研究センター、育種場の研究者から、次の６課題について発表しました。

○令和７年度の品種開発
育種部 育種第一課 育種調査役 大平 峰子

○スギ特定母樹からの少花粉品種の開発の取組
育種部 育種第二課 主任研究員 松下 通也

○滅失の危機に瀕する滑マツの遺伝子を未来へ遺す－滑山国有林由来の抵抗性アカマツ品種開発－
関西育種場 育種課 主任研究員 高島 有哉

○九州育種基本区のスギエリートツリー等についての特性情報の公表について
九州育種場 育種課 課長 千吉良 治

○小笠原諸島の希少樹種保全の取組－種子の長期保存に向けた乾燥耐性試験について－
遺伝資源部 保存評価課 特性評価研究室
主任研究員 玉城 聡

○スギの木質改変に向けた異所的な木部細胞誘導系の確立と木部形成関連遺伝子の探索
森林バイオ研究センター 森林バイオ研究室
主任研究員 佐藤 良介

発表後、関東以外の地域における特定母樹由来の少花粉スギ開発予定、採種園を構成するための実生系統の選定、小笠原固有種の種子における休眠打破の手法、木質改変に向けた候補遺伝子の推定結果を踏まえた今後の予定などについて、質疑応答がありました。

今回の成果発表会を通じて林木育種に対する社会的ニーズの高まりが益々感じられ、林木育種センターでは講演内容、講師や参加者の皆様からの御意見、御要望等も踏まえながら、更に研究開発と普及を進めて行く考えです。

（前・企画部　育種企画課　長谷部　辰高）

表紙タイトル写真
林木育種センター敷地内のスギの植栽地

林木育種情報　No.50　令和８年７月31日発行
国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター
〒319-1301　茨城県日立市十王町伊師 3809-1
TEL：0294-39-7000（代）
FAX：0294-39-7306
ホームページ　https://www.ffpri.go.jp/ftbc/index.html

間伐材用紙を使用しています
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

林木育種センター業務紹介映像「森の恵み、未来へ」
QRコードから動画で詳しく見る

林木育種センター職員採用映像「わたしの描く明日」
QRコードから動画で詳しく見る